

# NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第166号  
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2017年9月22日発行 46,370部

## 子育てのヒント

・ マインド

・ スキル

・ ナレッジ



子どものほめ方叱り方の講座を7年ぐらいい前から始めましたが、毎回たくさんの方が受講して下さいます。そこで、いくつかに分けて、子育てのヒントをお伝えしたいと思います。

マインド = 心構え

スキル = ちょっとしたコツ

ナレッジ = 知識・情報

これらの3つの要素がヒントになるかなと思っていますので、ひとつずつ紹介していきたいと思っています。

### 今回は「ナレッジ」について

マインド

親自身が「まずは自分のことを知る」ということをお伝えしました。

スキル

ちょっとしたコツを行動分析学の視点を基本として知っていくことをお伝えしました。

そして今回は最後のナレッジ=知識です。

子育てについての知識って、いろいろ溢れています。インターネット、SNSが爆発的に広まっていますし、スマホが登場してからは、手のひらのなかに情報の宝庫があると言っても過言ではないですね。

でもそれは、溢れすぎた情報から、わたしにとって必要なものは何だろう？わたしの子どもにとって必要な情報は何だろう？我が家にとっては？うちの子もだけじゃなくって、子どもたちの未来にとってはどうなの？

などなど、いろんな視点から考えていくことも必要です。(今回のあっとわん春秋でも触れています)

**知識をどう扱っていくのか？** がとても重要になってきます。

★知識の元になる情報をどう集めるのか？

インターネット・本・新聞・人から聞いたこと・その他から情報を得ることが多いと思います。基本的に情報は多い方が良いと言われていますが、多くて困る人は、必要以上に得ようとしない方が良いと思います。

★得た情報をどう知識に転換していくのか？

まずは、その得た情報は自分の好みだけで受け取っていませんか？自分に関係ないと勝手に思って排除しているものはありませんか？そういうものこそ、必要なものかもしれません。情報を知識にいくためには、選り好みするだけのやり方を止めて、受け取ってみることが必要な場合があります。

★情報や知識を、今までお伝えした、マインドとスキルで、実際に使っていきましょう！

特に子育ての場合は、子どもの年齢や時代の流れとともに変化していくものも多々あります。保護者自身が、その流れを柔軟に受け止めて、「子どもにとって必要なのか？」を常に考えていくことも大切になってきます。保護者自身の固執した考え方がないか？がポイントです。

生活の中で、子育ての中でいろいろと行動していけたらと思います。

あっとわん春秋

子育てについて、丁寧に語り、子育てしていく部分と、ある程度距離をおいて子どもを見守っていくところの線引きが難しいのだから、うなずくというケースが多いように思います。この要因として「完璧な子育てをしたい」ということがあると思われまふ。インターネットなどの情報が溢れすぎていて、それを自分の子育てに採用していかなくちゃならないから、かきわからなくなるから、「ちゃんとして育てよう」というメッセージを受け取り過ぎてしまう傾向を感じています。一方、丁寧に子育てしなきゃ…の対極に、「べたべたしない子育て」「子どもとの距離をおいて、かま過ぎない子育て」を推奨するものもあるように思います。▼この間をどう取るのか？が課題だと思えますし、それぞれの家庭でのやり方が個性として現れるところだと思ふのですが、保護者の多くは、知らず知らず「自分にとって都合の良い」ものを選んでしまう傾向を感じています。子どもにとって本当に必要な環境と将来に必要なスキルを身につけるためには？という視点がとても大切だと思ふます。

かわのゆみこ